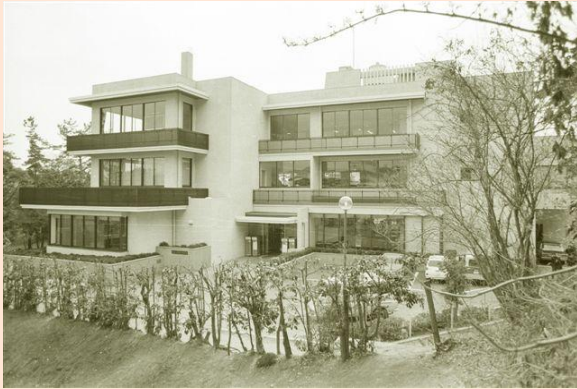


中央図書館開館



中央図書館開館 1974(昭和49)年

中央図書館は御成小学校に隣接し、緑豊かな住宅地にあります。
鎌倉市図書館の中心として地域館へのバックアップも重要な役目です。
鎌倉時代の中心地ということもあり、全国から寄せられる問合せに応えられるよう、郷土資料の充実にも力を入れ、近代史資料室を併設しています。
16ミリ映写機、16ミリフィルムなどの貸出をしたり、視覚障がいの方に朗読テープ、点字本を郵送するサービスを行っています。



16ミリ映写機 エルモ



大船貸出所開設 1974年

- 1974 S. 49 中央図書館開館
- 視聴覚ライブラリー開設
- 16ミリ映写機類貸出開始
- 大船貸出所開設
- 1975 S. 50 中央図書館でおはなし会開始
- 1977 S. 52 録音図書郵送貸出開始
- 1980 S. 55 深沢図書館開館
- S. 57 大船図書館開館
- 1986 S. 61 中央図書館でCD貸出開始
- 1987 S. 62 玉縄図書館開館



腰越停本所



文学散歩

鎌倉文学ゆかりの地をたずねて歩くこの催しは、多数の参加者に恵まれた人気の催しでした。
1986(昭和61)年、文学館へと引き継がれました。

図書館全域サービス



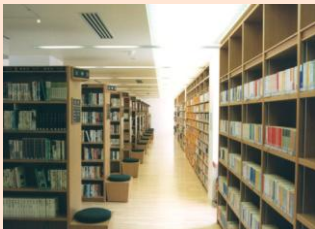
□深沢図書館開館 1980(昭和 55)年
深沢行政センターの2階にあります。中央図書館に次いで、市内で2番目にできた図書館です。地域館の中では一番広いスペースを持ち、明るくゆったりとした雰囲気。団体貸出の基地になっています。



□大船図書館開館 1982(昭和 57)年
大船行政センターの2階にあります。大船の台所、仲通り商店街のすぐそば。JR、モノレールの大船駅に近く、交通の便の良いところにあります。親しみやすく活気のある図書館です。



□玉縄図書館開館 1987(昭和 62)年
玉縄行政センターの2階にあります。その昔、北条早雲が築いた玉縄城(現在は城址のみ)のふもとに位置しています。近くに柏尾川が流れ、県立フラワーセンターもあります。



□腰越図書館開館 1999(平成 11)年
腰越行政センターの3階にあります。市内で一番新しい図書館です。3階にあるため明るく開放的な雰囲気。眺めもよし！
1階の奥には親水公園があって、川べりに降りて遊ぶことができます。

- 1991 H.3 神奈川県図書館情報ネットワーク加入
- 1992 H.4 祝日開館実施
- 1995 H.7 全館コンピューターシステムオンライン導入
- 1996 H.8 夜間開館開始
- 1998 H.10 藤沢市図書館との広域利用実施
図書館ホームページ開設
- 1999 H.11 腰越図書館開館
おひぎにだっこのおはなしかい開催

鎌倉市図書館の特色

100周年を迎える鎌倉の図書館は、一時代を背負った都市の図書館として、鎌倉に関する資料を可能な限り網羅的に収集・整理・保存しています。



『狭衣物語』(さごろもものがたり)四冊 写本

国文学者の山岸徳平氏(元実践女子大学長)の解題によれば、室町末近世初の書写で、恐らく慶長から寛永初め頃の筆写で寛永以後には下らないと書かれており、約400年も前のものになります。

又、単に古いだけでなく、内容的にも従来知られていた流布本と本文の異同が多くみられ、どの系統に属するかを決めるわけにはいかず、それがまたこの本の特異性だと評されているものです。

そのため古典研究会が、1969(昭和44)年に『鎌倉市図書館蔵 狭衣物語』上下二冊本(貸出可)として影印版で刊行しています。



田邊松坡(たなべしょうは)より寄贈された洋装本の一部と寄贈印

松坡文庫は、明治・大正・昭和期の教育者(逗子開成・鎌倉女学院初代校長)で漢詩人だった田邊新之助(号は松坡、文久2~昭和19)の旧蔵になるもので、その殆どが漢籍・準漢籍及び日本の漢詩文集です。文庫の内容は『未刊諸文庫古書分類目録第三輯』(長澤規矩也等編 汲古書院 1987)で知ることができます。(原物は未公開)

なお、田邊松坡の長男は哲学者で文化勲章受章者の田邊元、次男は洋画家の田邊至です。



『鎌府勝景』(けんぶしょうけい)一卷
若宮大路・鶴岡八幡宮の図の一部分

『鎌倉事典』(白井永二編 東京堂出版 1976)によると、「文政十年八月から一年間、鶴岡八幡宮再建のため鎌倉に滞在していた、幕府作事奉行組下の海老原利啓が、鎌倉および江の島・金沢の名所を写生し、天保五(1834)年これをまとめた図巻。全部で二十一図中、鎌倉十二図、江の島二図、金沢五図、その他二図である。絵画としての価値は乏しいが、写生図である点を重視すべきであろう」というものです。原物は非公開ですが、『図説鎌倉回顧』(鎌倉市 1969)に各図カラーで掲載されています。



版元や時代の異なる古絵図で大仏を比較

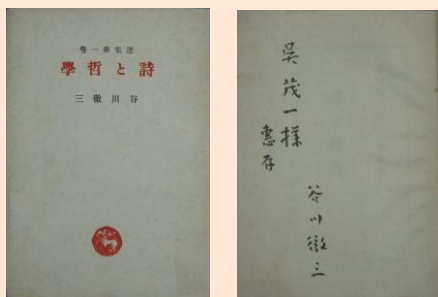


鎌倉の図書館は「錦絵」も多数所蔵しています

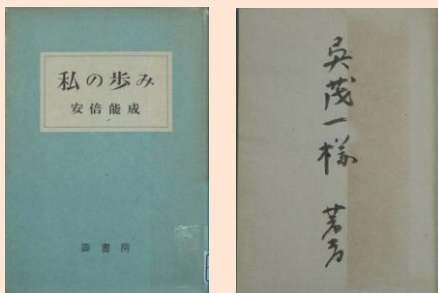
鎌倉の図書館は、著名人から著名人への
献呈署名本など、貴重資料を多数所蔵しています。



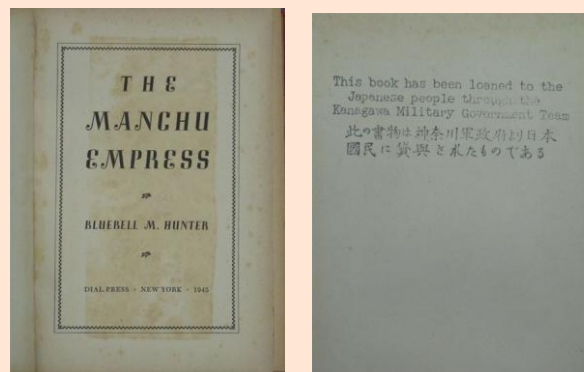
『蛇いちご』小杉天外著 春陽堂 1899(明治32)年
見返しに、「小杉天外先生喜寿記念、寿、
鎌倉ペンクラブ」が貼付されています。



『詩と哲学』谷川徹三著 齋藤書店 1948(昭和23)年



『私の歩み』安倍能成著 要書房 1949(昭和24)年
上2冊は、
谷川徹三、安倍能成から呉茂一あての献呈本

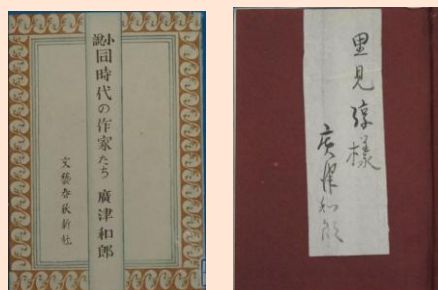


『The Manchu Empress』BLUEBELL M. HUNTER 著 DIAL PRESS
1945(昭和20)年

「This book has been loaned to the Japanese people through the Kanagawa Military Government Team
此の書物は神奈川軍政府より日本国民に貸与されたものである」と見返しに押印されています。



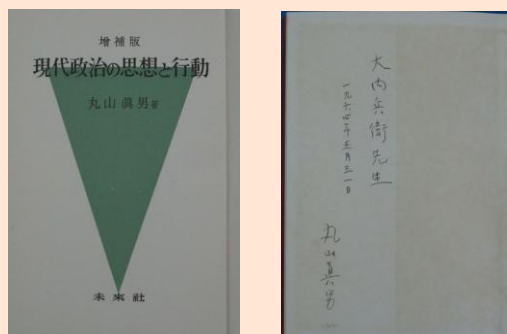
『一路』木下利玄著 東京国文社 1924(大正13)年
木下利玄から間島弟彦あての献呈本
(大正13年12月)
後に、愛子夫人より図書館へ寄贈されました。
(昭和13年1月6日)



『同時代の作家たち』広津和郎著 文芸春秋新社
1951(昭和26)年



『過酸化マンガン水の夢』谷崎潤一郎著 栗本和夫発行
1956(昭和31)年
上2冊は、
広津和夫、谷崎潤一郎から里見淳あての献呈本



『増補版 現代政治の思想と行動』丸山真男著 未来社
1964(昭和39)年
丸山真男から大内兵衛あての献呈本